令和6年度(第2回)理事会議事録

佐賀県国民健康保険団体連合会

1 開催日時及び場所

令和6年7月11日(木) 午後2時～午後3時11分
佐賀県国保会館 特別会議室

2 出席役員名

理事長 峰 達郎(唐津市長)
副理事長 水川 一哉(大町町長)
常務理事 原 節治(学識経験者)
理事 深浦 弘信(伊万里市長)
松田 一也(基山町長)
松尾 佳昭(有田町長)
池田 秀夫(佐賀県医師国民健康保険組合理事長)

3 議 題

- 第30号議案 令和5年度佐賀県国民健康保険団体連合会事業実績の認定について
- 第31号議案 令和5年度佐賀県国民健康保険団体連合会一般会計決算の認定について
- 第32号議案 令和5年度佐賀県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計
決算の認定について
(業務勘定)
(国民健康保険診療報酬支払勘定)
(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)
(福祉医療診療報酬支払勘定)
(抗体検査等費用に関する支払勘定)
- 第33号議案 令和5年度佐賀県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業特別会計
決算の認定について
(業務勘定)
(後期高齢者医療診療報酬支払勘定)
(後期公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)
- 第34号議案 令和5年度佐賀県国民健康保険団体連合会第三者行為損害賠償求償事務
共同処理特別会計決算の認定について
- 第35号議案 令和5年度佐賀県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等
事業特別会計決算の認定について
(業務勘定)
(特定健康診査・特定保健指導等費用支払勘定)

- 第 3 6 号議案 令和 5 年度佐賀県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計決算の認定について
(業務勘定)
(障害介護等給付費支払勘定)
- 第 3 7 号議案 令和 5 年度佐賀県国民健康保険団体連合会介護保険事業特別会計決算の認定について
(業務勘定)
(介護給付費支払勘定)
(公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)
- 第 3 8 号議案 佐賀県国民健康保険団体連合会財産の認定について
令和 5 年度決算における収益事業に係る実費弁償方式の判定結果について
- 第 3 9 号議案 令和 5 年度佐賀県国民健康保険団体連合会会計別歳入歳出差引残額の処分について
- 第 4 0 号議案 佐賀県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払規則の一部を改正する規則
- 第 4 1 号議案 佐賀県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計経理規則の一部を改正する規則
- 第 4 2 号議案 佐賀県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業特別会計経理規則の一部を改正する規則
- 第 4 3 号議案 令和 6 年度佐賀県国民健康保険団体連合会一般会計補正予算
- 第 4 4 号議案 令和 6 年度佐賀県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)補正予算
- 第 4 5 号議案 令和 6 年度佐賀県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)補正予算
- 第 4 6 号議案 令和 6 年度佐賀県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業特別会計(業務勘定)補正予算
- 第 4 7 号議案 令和 6 年度佐賀県国民健康保険団体連合会特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計(業務勘定)補正予算
- 第 4 8 号議案 令和 6 年度佐賀県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)補正予算
- 第 4 9 号議案 令和 6 年度佐賀県国民健康保険団体連合会介護保険事業特別会計(業務勘定)補正予算
- 第 5 0 号議案 令和 6 年度佐賀県国民健康保険団体連合会財産の処分について
- 第 5 1 号議案 佐賀県国民健康保険団体連合会役員の任期満了による選任について
- 第 5 2 号議案 令和 6 年度佐賀県国民健康保険団体連合会表彰規程による被表彰者の決定について
- 第 5 3 号議案 佐賀県国民健康保険団体連合会通常総会の招集について

4 議事の経過の要領及びその結果

理事 8 名中 7 名の理事の出席があり、定足数に達しているため、令和 6 年度（第 2 回）理事会が成立していることを報告した。

また、規約第 31 条第 1 項の規定により、峰理事長が議長を務めた。

(理事長挨拶)

- 最近の国保の情勢について、4 月末時点の県内の被保険者数は、およそ 16 万 3 千人となっており、この 10 年間で約 3 割近くが減少した。被保険者数の減少は、当然ながら人口減少も原因のひとつだが、被用者保険の適用拡大も大きな要因のひとつであると考えている。
- 更に、今年 10 月には、被用者保険の適用範囲が従業員 51 人以上に拡大されるため、被保険者の減少に拍車がかかるものと予想されている。
- 国は、さらなる被用者保険の適用拡大を図るべく、企業規模要件を撤廃する方向性を示す一方で、生活保護受給者の国保と後期高齢者医療制度への加入を検討している。
- 被保険者の所得水準が低いことに加え、加入者に若年層が少なく医療費も高いという構造的な問題を抱えている国保において、国の方針は国保制度の根幹を揺るがし、破綻を招くものと危惧している。
- 先月、開催された全国市長会で、財務省の財政制度等審議会などが求める生活保護受給者の国保等への加入について、反対する文言を盛り込んだ国保制度等に対する重点提言を決定したところである。
- 国民皆保険制度の中核を担い、地域住民の健康の保持増進のほか、福祉の面でも重要な役割を果たしている国保がこれまで以上に厳しい運営を迫られるのは間違いないと考えている。
- 今後とも県、市町及び国保組合の皆様との連携を密にし、各種共同処理や医療費分析、保健事業の支援など、これまで以上に保険者の支援に努めてまいる所存である。

(議決事項)

- ・ 第 30 号議案について事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

- ・ 第 31 号議案から第 38 号議案まで事務局から提案説明があった。
理事から、令和 6 年度予算について質問があった。
これに対し、事務局から説明を行った。
その後、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

- ・ 第 39 号議案について事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

- ・ 第 40 号議案から第 42 号議案まで事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

- ・第 43 号議案から第 50 号議案について事務局から提案説明があった。
理事から、県外医療機関の子ども医療の現物給付の状況について質問があった。
これに対し、事務局から説明を行った。
その後、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
- ・第 51 号議案について事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、
全員異議なく原案どおり可決された。
- ・第 52 号議案について事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、
全員異議なく原案どおり可決された。
- ・第 53 号議案について事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、
全員異議なく原案どおり可決された。
- ・その他、報告事項として、「国保総合システム財政措置に関する決議」と「税制改正に伴う今後の予定」について、事務局から説明を行った。